訓練に伴う情報発信・アナウンス実施例について

１　大阪府・市における情報発信

(1) 緊急速報メール/エリアメールの発信

　ア　午前11時03頃(大阪府が大阪府全域に発信)

「大阪880万人訓練」の訓練通報です。実行委員会を代表して大阪府より発信しています。DISASTER DRILL　11時03分に大阪府沿岸全域に大津波警報が発表されました。各市町村の指示に従って、身を守るための適切な避難行動をとってください。

　 イ　午前11時04分頃(大阪市が大阪市域に発信)

「大阪880万人訓練」の訓練通報です。DISASTER DRILL　大阪府に大津波警報が発表されました。次の17区の方は、丈夫で高い建物の3階以上等へ避難してください。北区、都島区、福島区、此花区、中央区、西区、港区、大正区、浪速区、西淀川区、淀川区、旭区、城東区、鶴見区、住之江区、住吉区、西成区

上記地域以外の方についても、引続きご注意ください。以上で訓練通報を終了します。

(2) 防災行政無線(屋外スピーカー)の放送

　ア　午前10時50分頃

　　　「上りチャイム4音」

「こちらは大阪市です。本日午前11時から大阪880万人訓練の実施に伴い、防災行政無線による訓練放送を行います。」（2回）

「下りチャイム4音」

　イ　午前11時00分頃

　　　「上りチャイム4音」

「こちらは大阪市です。只今から訓練放送を行います。」（2回）

「緊急地震速報チャイム音」（音源利用）

「訓練・緊急地震速報　強い揺れに備えてください。」（2回）

「こちらは大阪市です。訓練放送を終わります。」

「下りチャイム4音」

　ウ　午前11時05分頃

「上りチャイム4音」

「こちらは大阪市です。ただいまから訓練放送を行います。」（2回）

「サイレン3秒吹鳴」

2秒休止

「サイレン3秒吹鳴」

2秒休止

「サイレン3秒吹鳴」

「訓練、大津波警報、大津波警報　ただちに高台へ避難してください」（2回）

「これは訓練放送です。これで訓練放送を終わります。」

「下りチャイム4音」

２　館内放送をする場合の例

(1)　訓練放送を実施する場合

ア　事前

館内の皆様にお知らせします。

９月５日（木）は、(または、本日11時から)「大阪880万人訓練」が開始されます。

訓練情報の発信で複数回携帯電話が鳴りますが、係員の指示に従って、落ち着いて周りを確認、身の安全を確保するなど訓練参加のご協力をお願いいたします。

イ　訓練開始時(午前11時00分)

「訓練地震発生　大きな揺れに備えてください。」

「落ち着いて」「姿勢を低く・頭や体を守ってください。

「ガラスなどから離れてください。」

　　　「外に飛び出さないでください。」

　　　「揺れが収まるまでその場でジッとしてください」

ご協力ありがとうございました。

　ウ　避難訓練実施時(午前11時03分以降)

　　　 「訓練大津波警報発表」

「大阪府沿岸に大津波警報が発表されました。落ち着いて、(丈夫で高い建物の)３階以上等へ避難してください。」

　　　　(避難訓練終了後)

ご協力ありがとうございました。

(2) 事前に注意喚起を行う場合

ア　事前周知文

館内の皆様にお知らせします。

９月５日（木）は、（または、本日11時から）「大阪880万人訓練」が開始されます。

午前11時03分頃及び午前11時04分頃に緊急速報メールなど対応の携帯電話が鳴りますのでお知らせします。

イ　緊急速報メール/エリアメール発信後(午前11時03分頃及び午前11時04分頃)

ただいま携帯電話が鳴りましたのは「大阪880万人訓練」の訓練送信メールです。

携帯電話が鳴っている方は、あわてず内容の確認をお願いいたします。